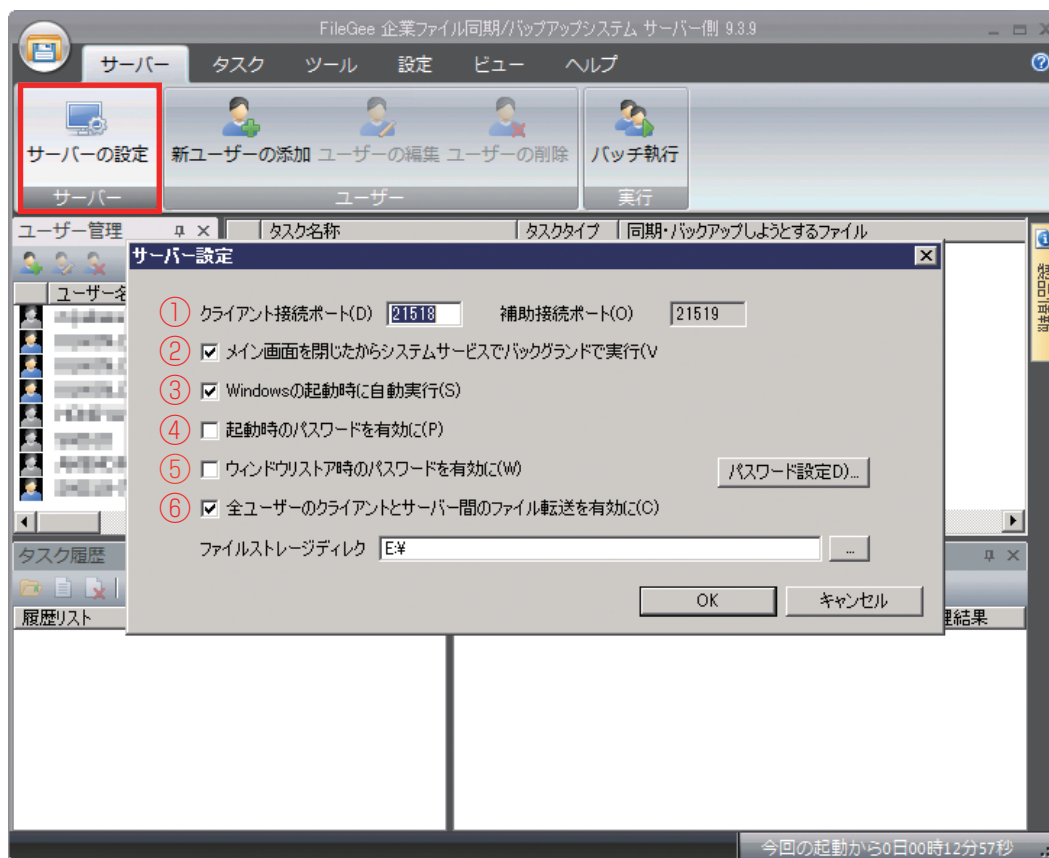


FileGee エンタープライズ サーバー

Version 1.1

FileGee エンタープライズサーバーマニュアル 「機能の紹介」
[サーバー][タスク][ツール][設定][ビュー][ヘルプ]

■サーバーの設定 1



「サーバーの設定」をクリックすると、「サーバー設定」の画面が表示されます。

① クライアント接続ポート (D) 補助接続ポート (O)

FileGee エンタプライズ サーバーとクライアントが通信を行うポート番号です。特に問題が無い限り変更しないで下さい。また、Windows ファイアウォールで上記ポート番号を開けてクライアントとサーバーとの通信ができるよう設定する必要があります。

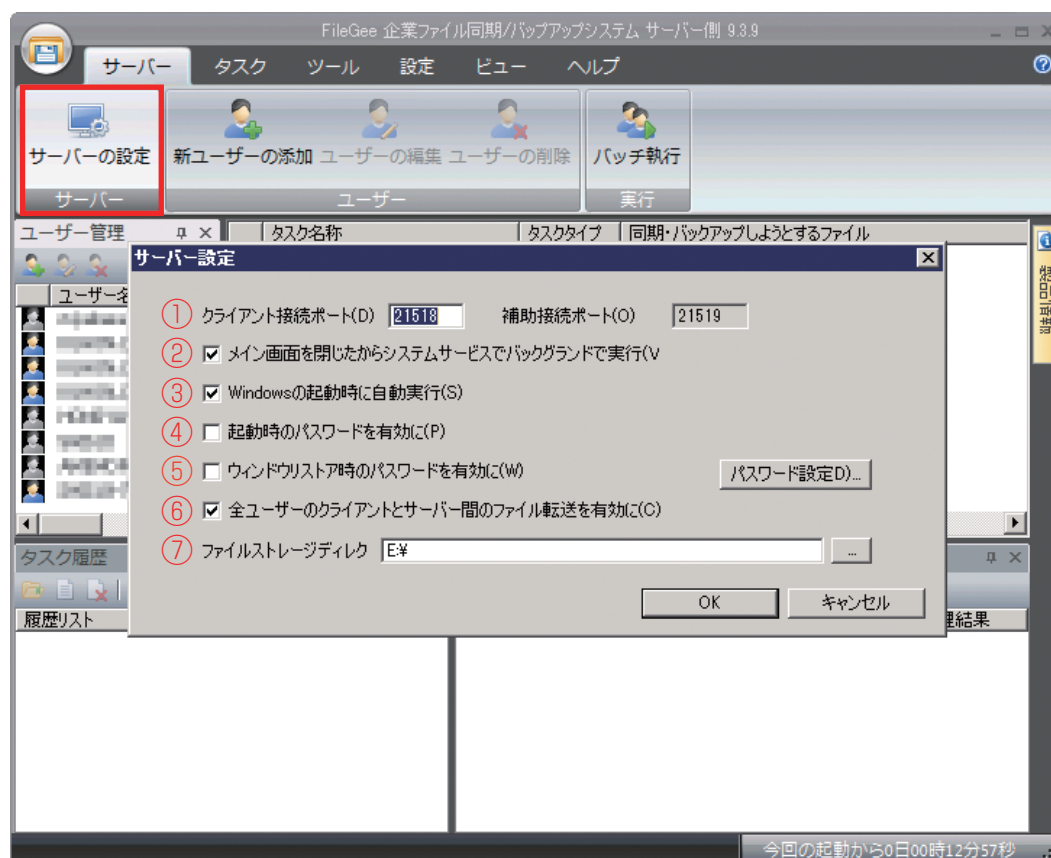
② メイン画面を閉じたらシステムサービスでバックグラウンドで実行

FileGee は標準仕様で、チェックを入れていない場合、画面を閉じると同時にバックアップ機能も停止しますが、チェックを入れる事でソフトを閉じてもバックグラウンドで動作します。

③ Windows の起動時に自動実行

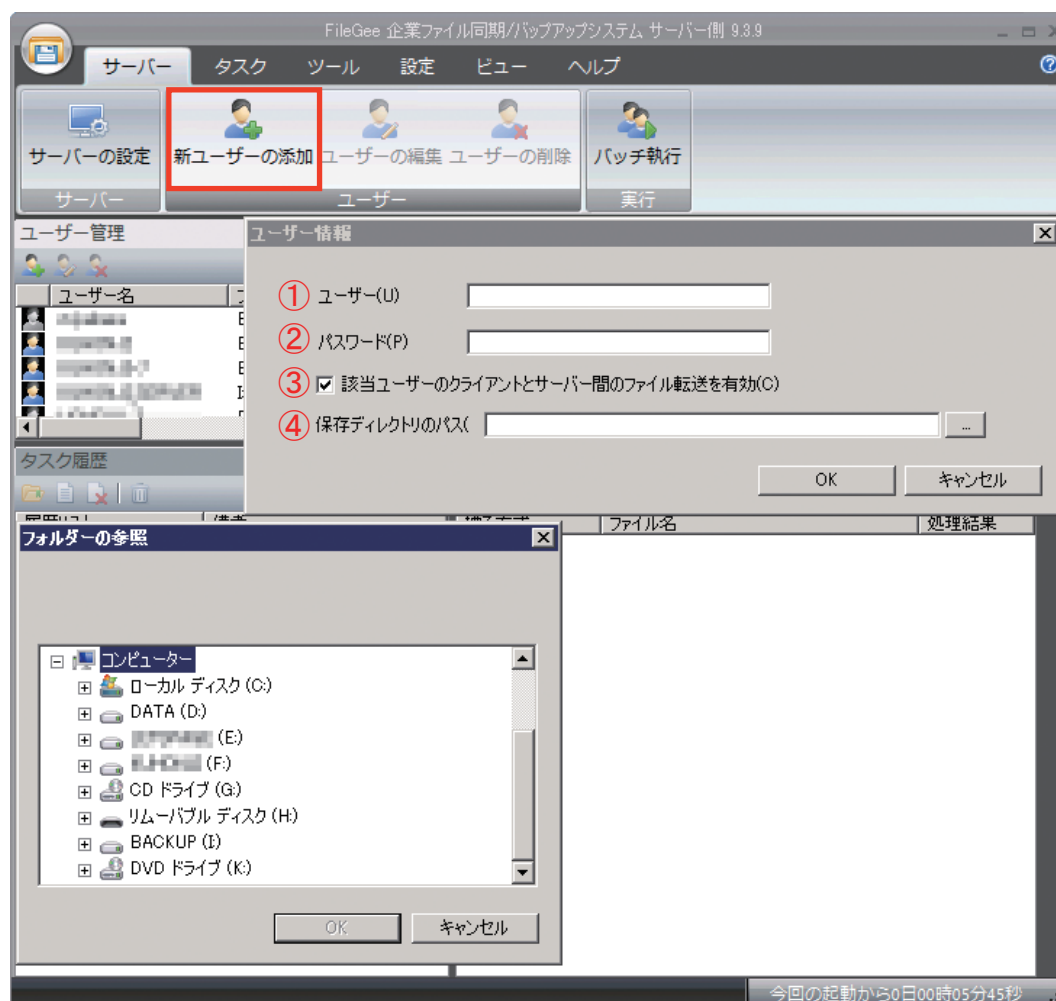
この項目にチェックを入れる事で Windows が起動、若しくは Windows にログインした時、タスクトレイにソフトが常駐しますが、②の項目をチェックしている場合タスクトレイに常駐していなくても FileGee はバックグラウンドで完全に処理を行います。

■サーバーの設定 2



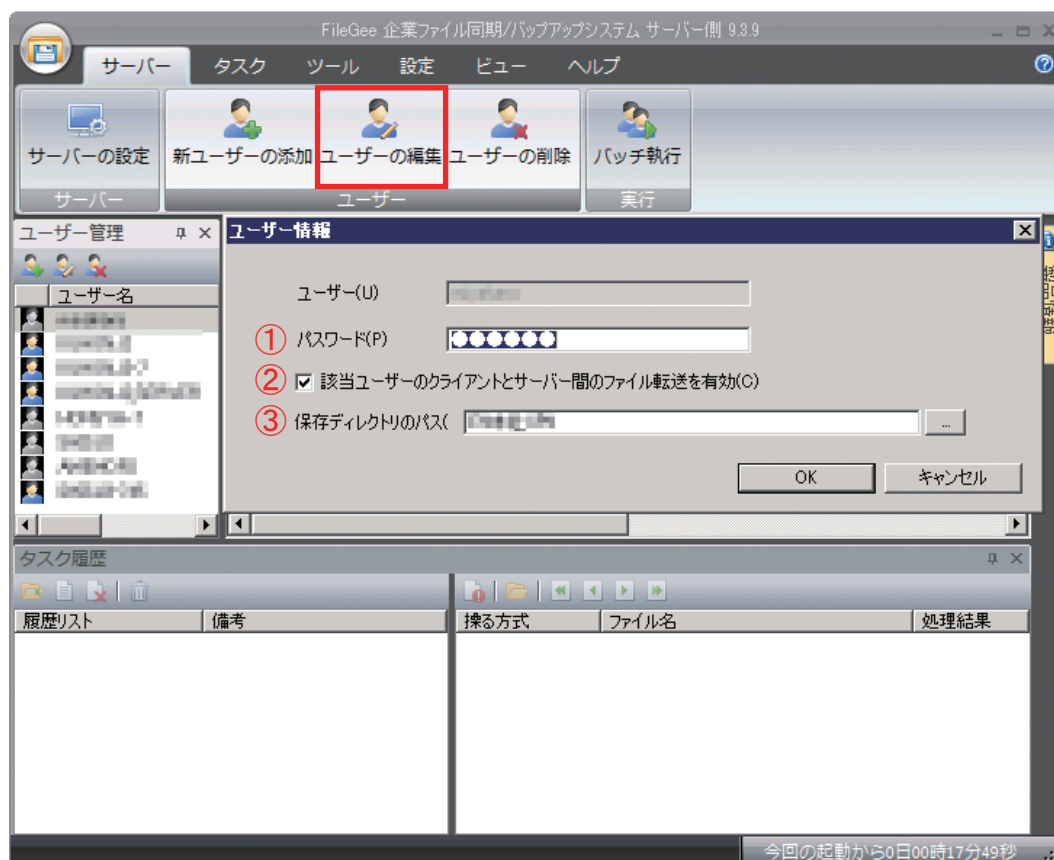
- ④ 起動時のパスワードを有効に
複数サーバーの管理者がいる場合でセキュリティ上 FileGee にパスワードが必要な時に使う機能です。
- ⑤ ウィンドリストア時のパスワードを有効に
誤操作によるバックアップシステムの停止を防ぐ為、この項目にチェックを入れる事で FileGee を停止させる際、パスワードを求められます。
- ⑥ 全ユーザーのクライアントとサーバー間のファイル転送を有効に
メンテナンス等の理由でバックアップを一時的に停止させサーバーへのファイル転送を STOP させる機能です。
- ⑦ ファイルストレージディレクトリ
全ユーザーのバックアップ基となる場所を指定します。ここで指定したパーテーション・フォルダにクライアントのデータが転送されます。指定したフォルダ・パーテーションに各ユーザー毎のフォルダを作成しておけば管理上便利です。

■新ユーザーの追加



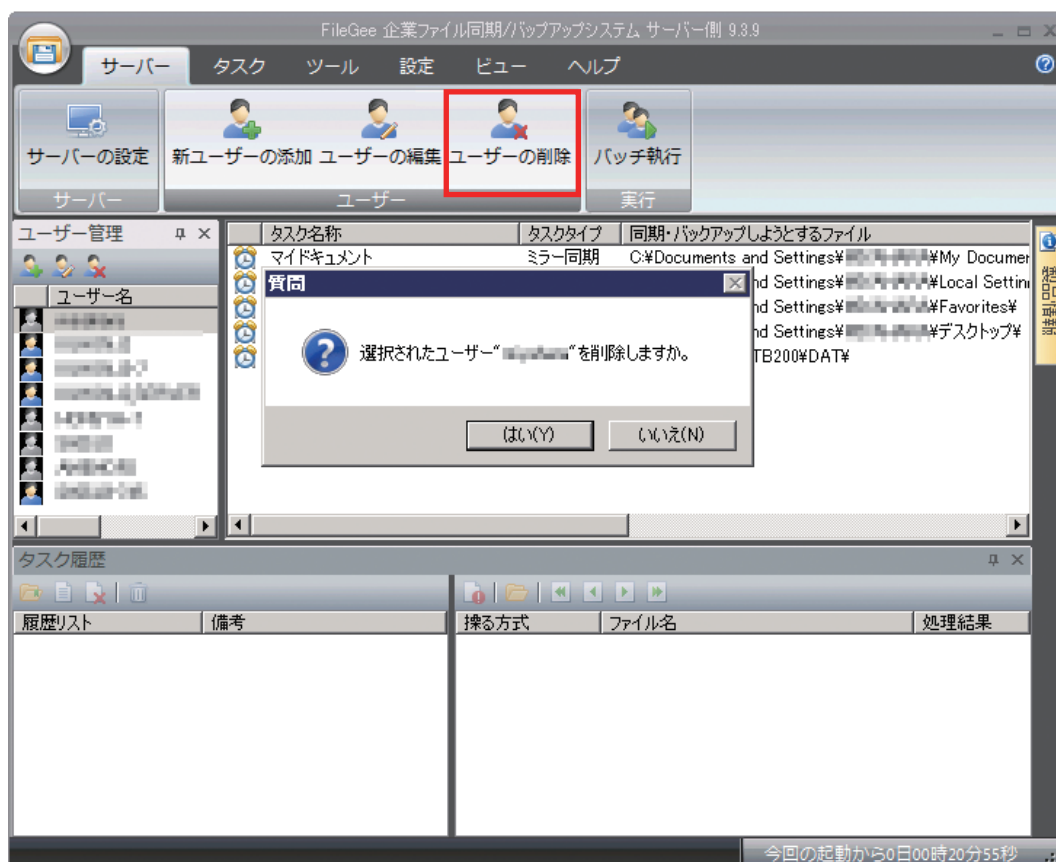
- ① ユーザー
追加したいユーザー（PC クライアント）情報を入力します。ユーザー名を記入して下さい。
- ② パスワード
クライアントがサーバーにログインするパスワードを入力します。
- ③ 該当ユーザーのクライアントとサーバー間のファイル転送を有効
この項目にチェックを入れる事でクライアントはサーバーにファイルを転送する事ができるようになります。
- ④ 保存ディレクトリのパス
ここで指定した場所にクライアントのデータは保存されます。前ページ（Page3）⑦で説明したユーザー用フォルダを指定してください。

■ユーザーの編集



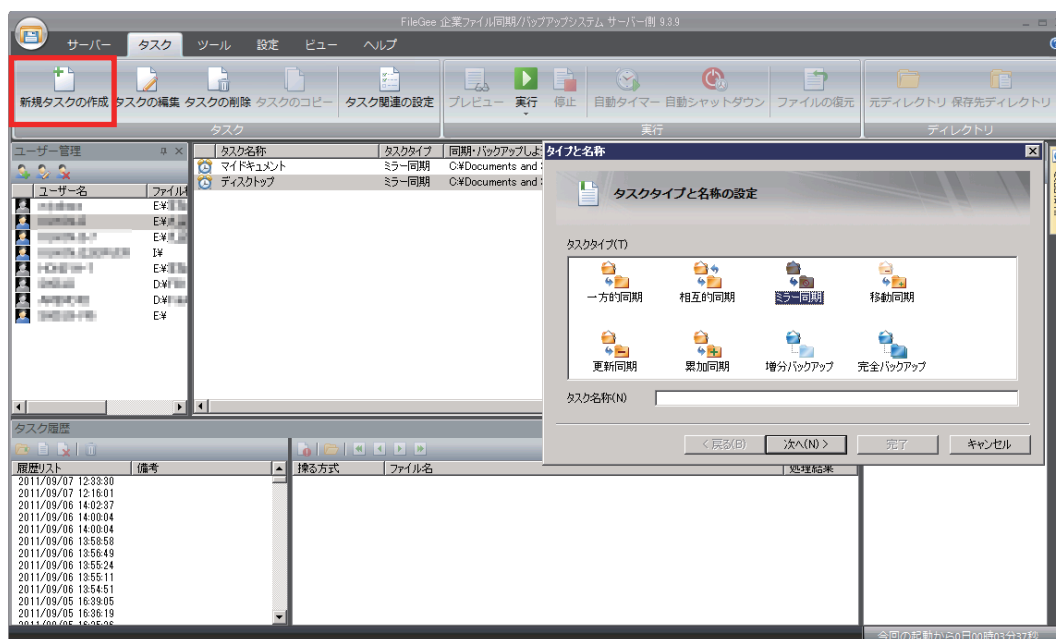
- ① パスワード
ユーザーのパスワードを変更したい場合、この画面より変更します。
- ② 該当ユーザーのクライアントとサーバー間のファイル転送を有効
メンテナンス等の理由で一時的にこのユーザーからのファイル転送を停止させたい場合
チェックを外します。
- ③ 保存ディレクトリのパス
クライアントからのバックアップ先を変更したい場合、ここから再設定できます。

■ユーザーの削除



登録したユーザーを削除する場合に使う機能です。「はい」を押すとユーザーは削除されます。尚、ユーザーは削除されても、これまでバックアップされたファイルはサーバー内に残りますので、直接そのフォルダを削除してください。

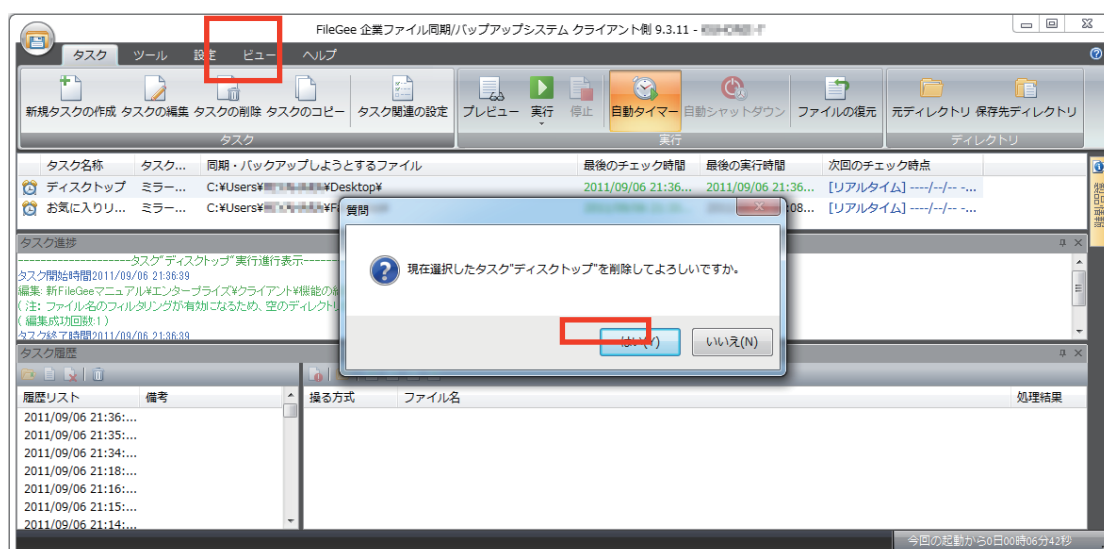
■新規タスクの作成



通常バックアップタスクはクライアント側から行うことが多いと思いますが、FileGee はサーバー側からもクライアントのバックアップタスクを組むことができます。ユーザーがオンラインの状態であることを確認し、そのユーザーを選択後「新規タスクの作成」をクリックすることで上記画面「タイプと名称」が表示されます。

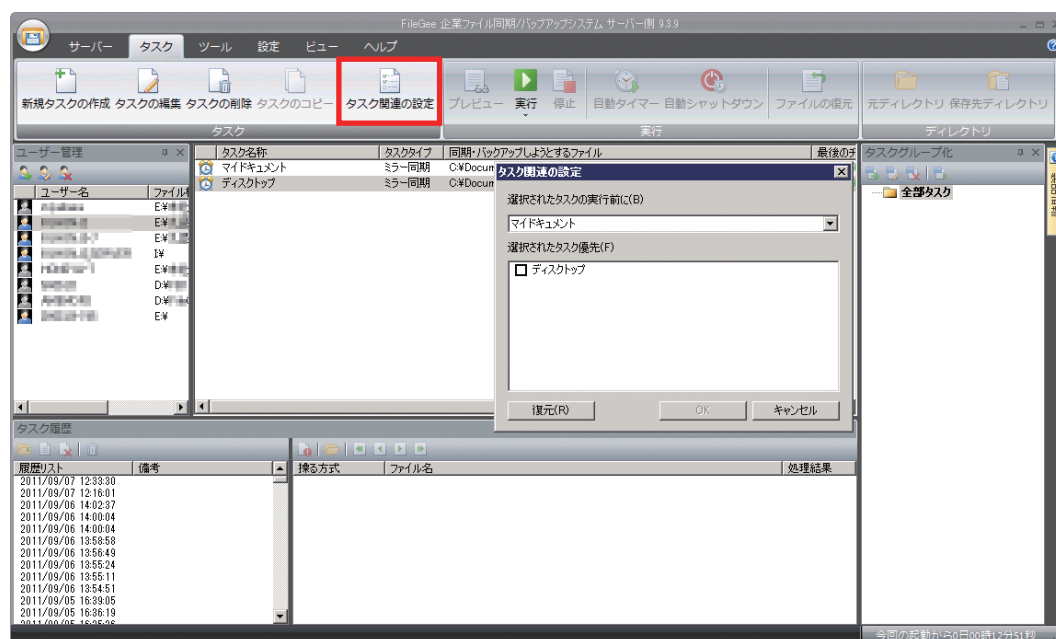
※詳細なタスクの設定方法は別紙で説明致します。

■タスクの削除



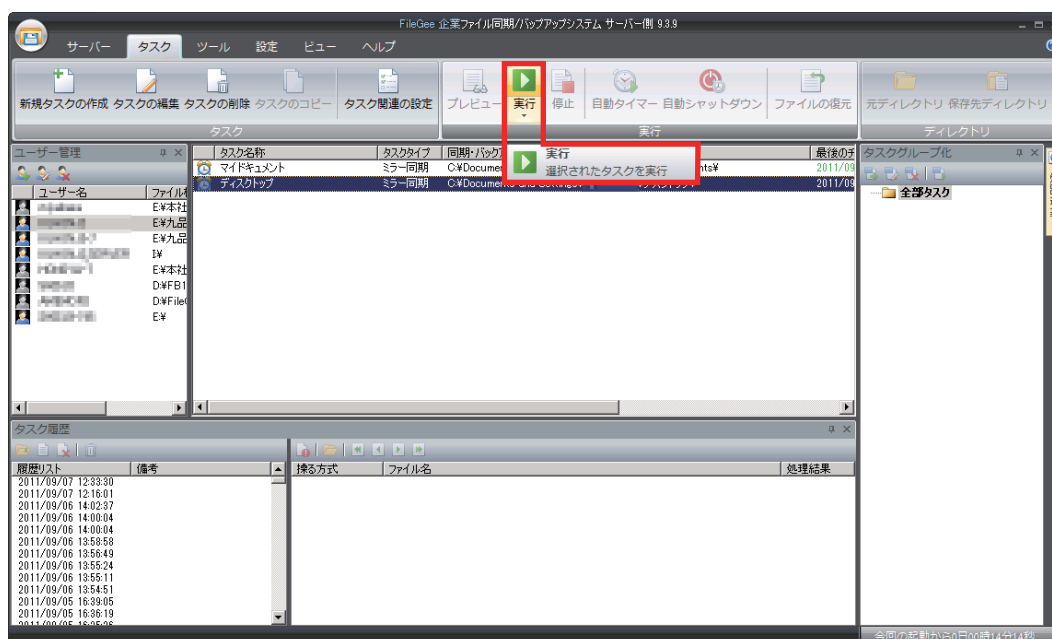
一度作成したタスクを削除する場合、「タスクの削除」をクリックし「OK」を押して下さい。タスクを削除されてもバックアップされたファイルはサーバー内から削除されませんので、直接そのフォルダを削除してください。

■タスク関連の設定



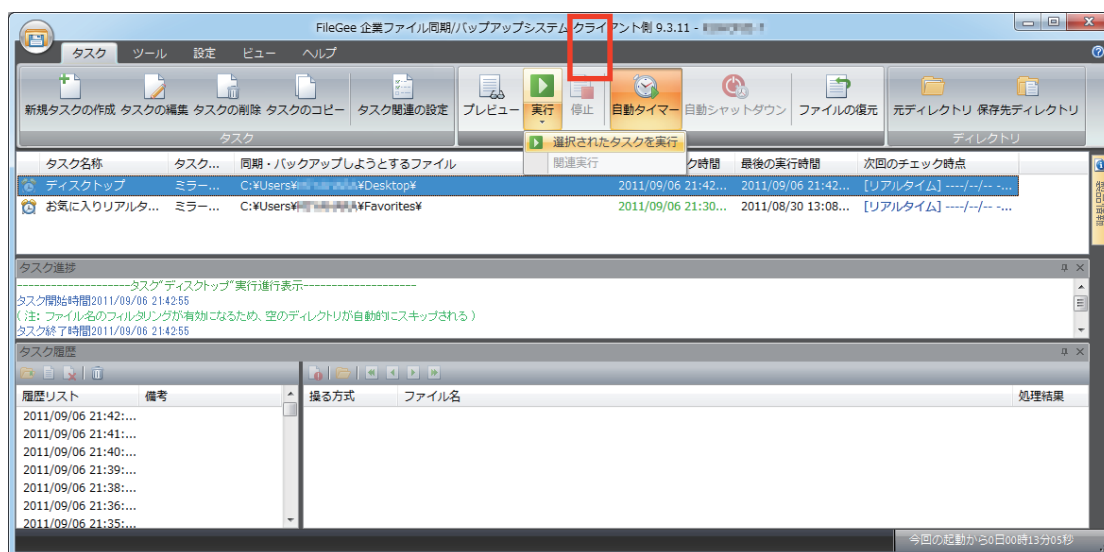
複数のバックアップタスクを組んだ場合、時によってはその順番が重要になる場合があります。通常タスクを組む場合実行する時間を指定しますが、その時間帯にクライアント PC が起動していない場合、設定によっては次回起動時に未実行のタスクが即時実行されます。その際タスク実行の優先順位を予め決めておく事でタスク実行優先順位でのトラブルを未然に防ぐ事が可能になります。

■タスクの実行



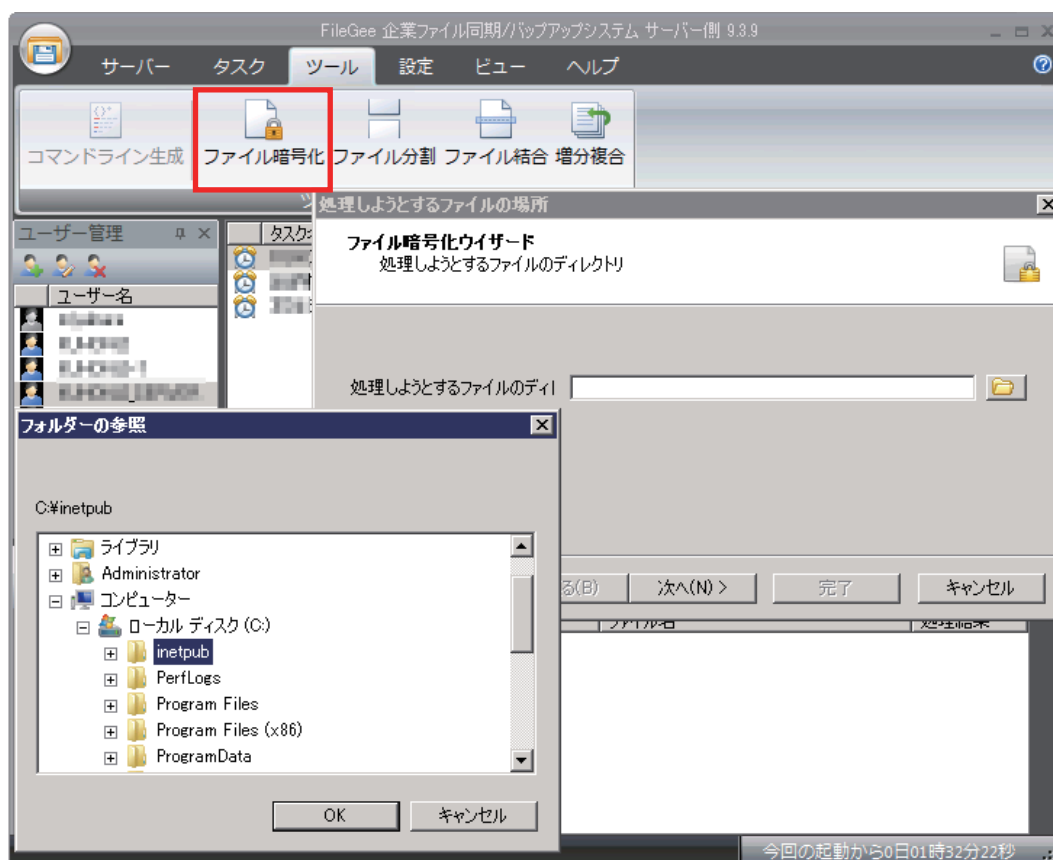
FileGee はサーバー側からクライアントのタスクを即座に実行する事ができます。タスクを実行したいユーザーがオンラインになっているのを確認して実行したいタスクを選択し「実行」をクリックして下さい。

■タスクの停止



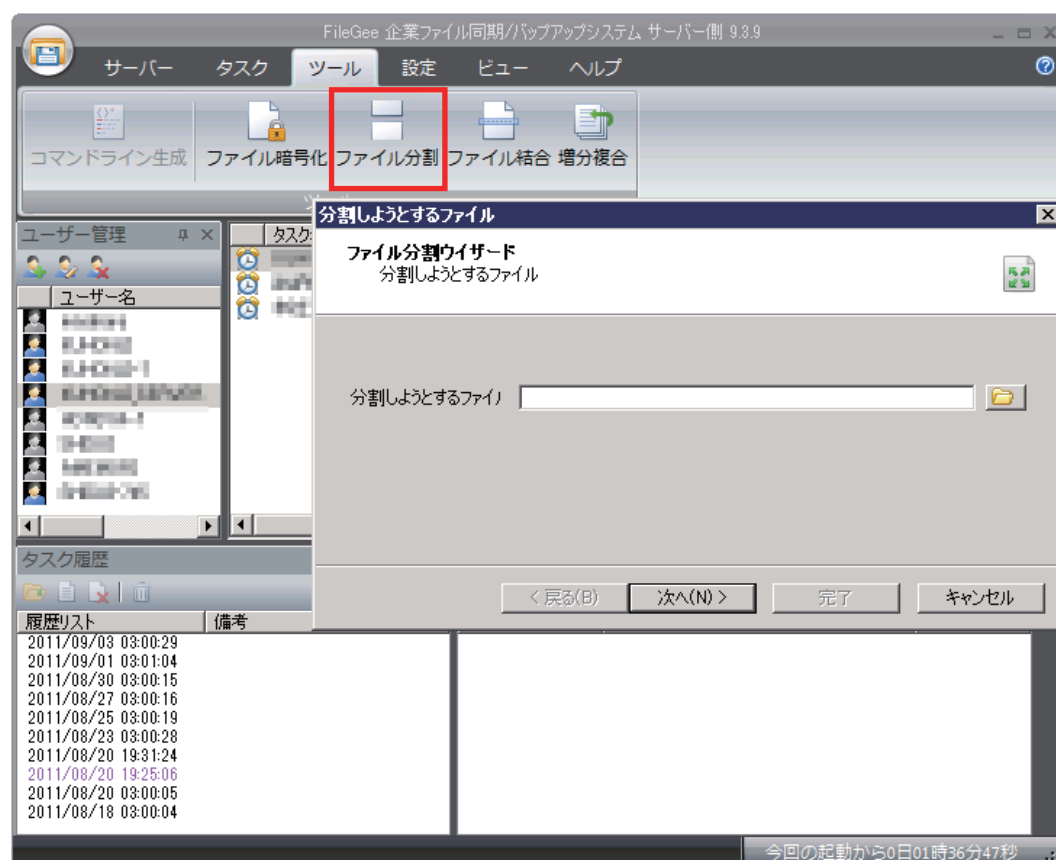
メンテナンス、その他の理由で現在実行されているタスクを停止させたい場合があります。その場合ユーザーを選択し停止させたいタスクを選択後「停止」ボタンを押す事でタスクを停止できます。

■ファイルの暗号化



FileGee はバックアップ機能とは別に単独で暗号化ツールを実装しています。例えば FileGee がインストールしてある PC 間のデータ受渡しや、DVD・CD・USB メディアなどに暗号化したファイルを書き込んで保管する場合も盗難などの事故で情報漏洩する可能性を低くします。

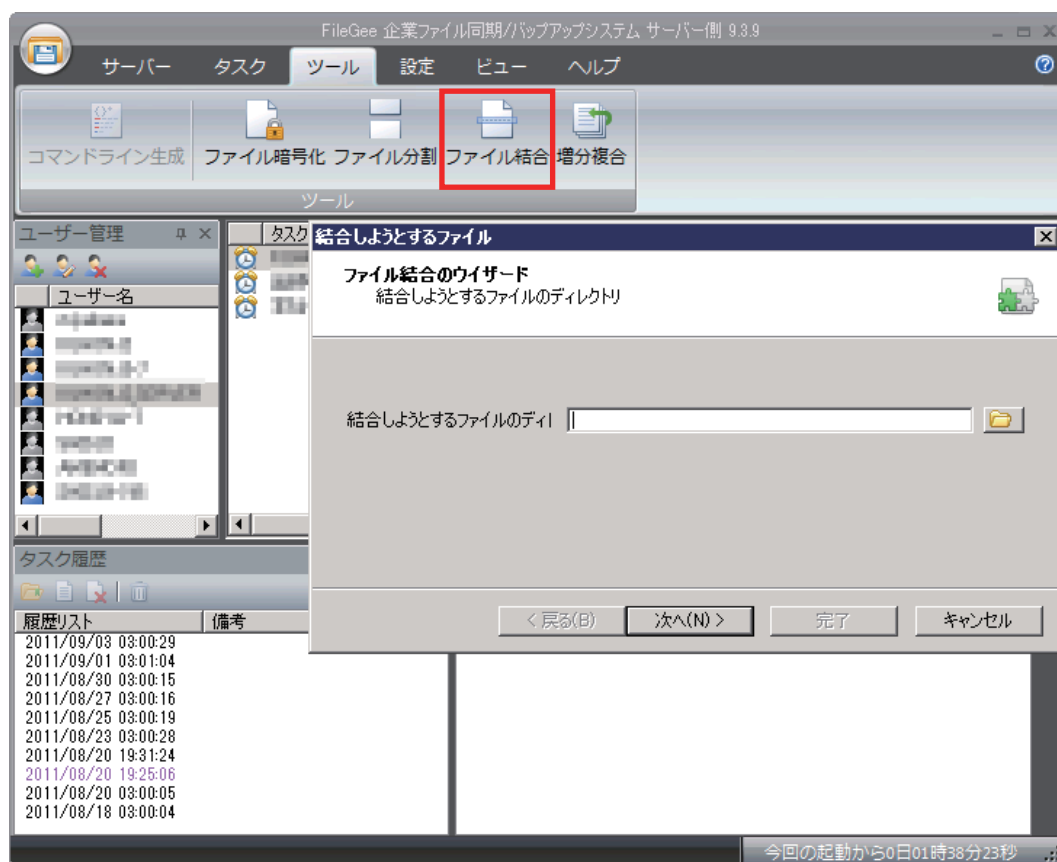
■ファイル分割



FileGee はバックアップ機能とは別に単独でファイル分割機能を備えています。この機能を使う事で 1 つの大きなファイルを指定した小さいサイズに分割し、結合する事も可能です。トップシークレットに位置するファイルを分割し、その分割したファイルを複数の人員で分散保存する事で更に高いセキュリティを保てます。また、分割する際、暗号化処理をする事で最も高いセキュリティを実現します。

※ファイルを結合するには、分散した全てのファイルと、暗号化を行った場合そのパスワードが絶対必要です。

■ファイル結合

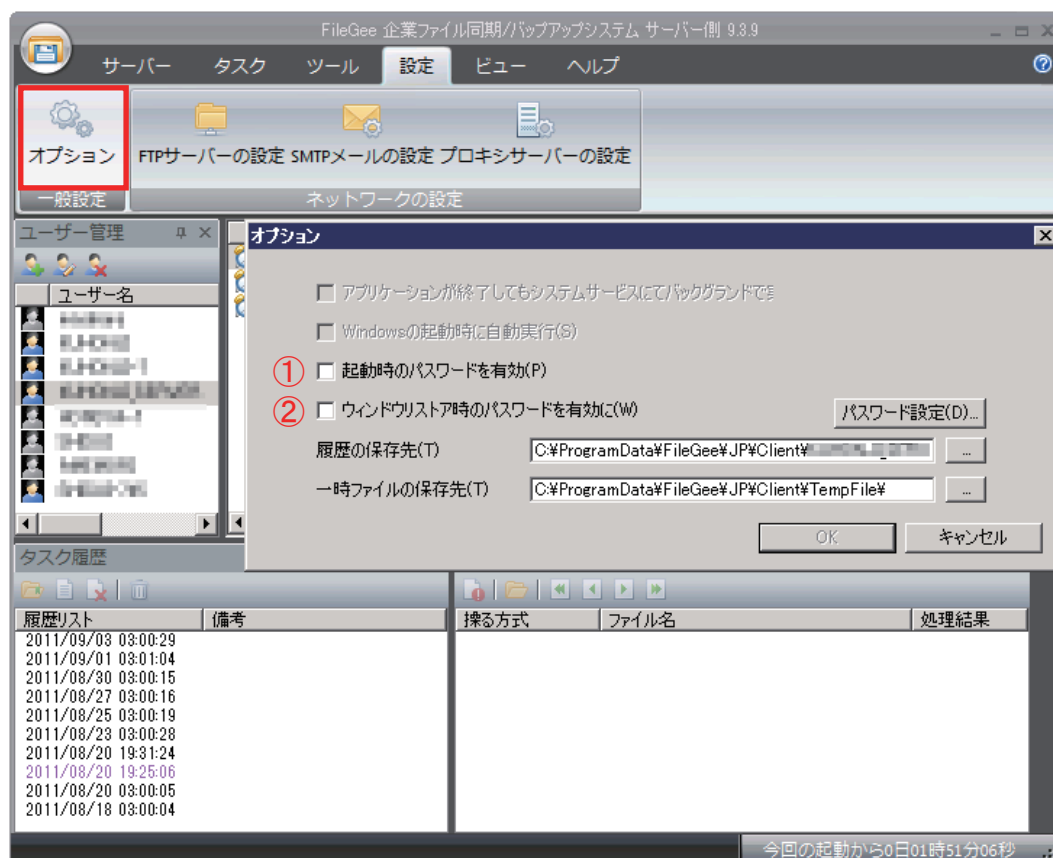


Page11 で説明したファイルを結合する際使用するツールです。分割したファイルを任意のフォルダに入れその場所を指定します。暗号化を行っていた場合パスワードの入力を求められますので、それも併せて入力します。結合したファイルを書き出す場所を指定すると同時に、結合したファイル名も指定する必要があります。

※ファイル名を指定する際、その拡張子も付ける必要があります。

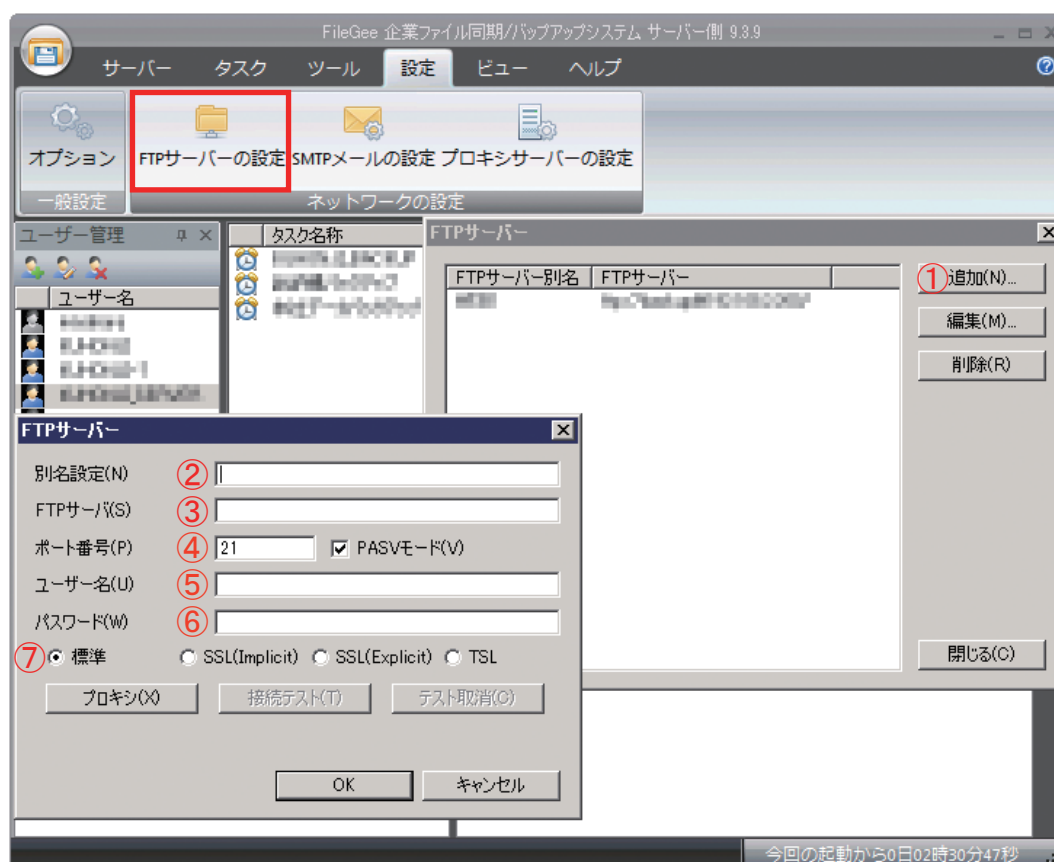
例) ○○○.exe や ○○○.xls

■オプション



- ① 起動時のパスワードを有効
FileGee のインターフェイスを起動させる際、パスワードを設定する事ができます
- ② ウィンドリストア時のパスワードを有効に
誤操作によるバックアップシステムの停止を防ぐ為、この項目にチェックを入れる事で FileGee を停止させる際、パスワードを求められます。

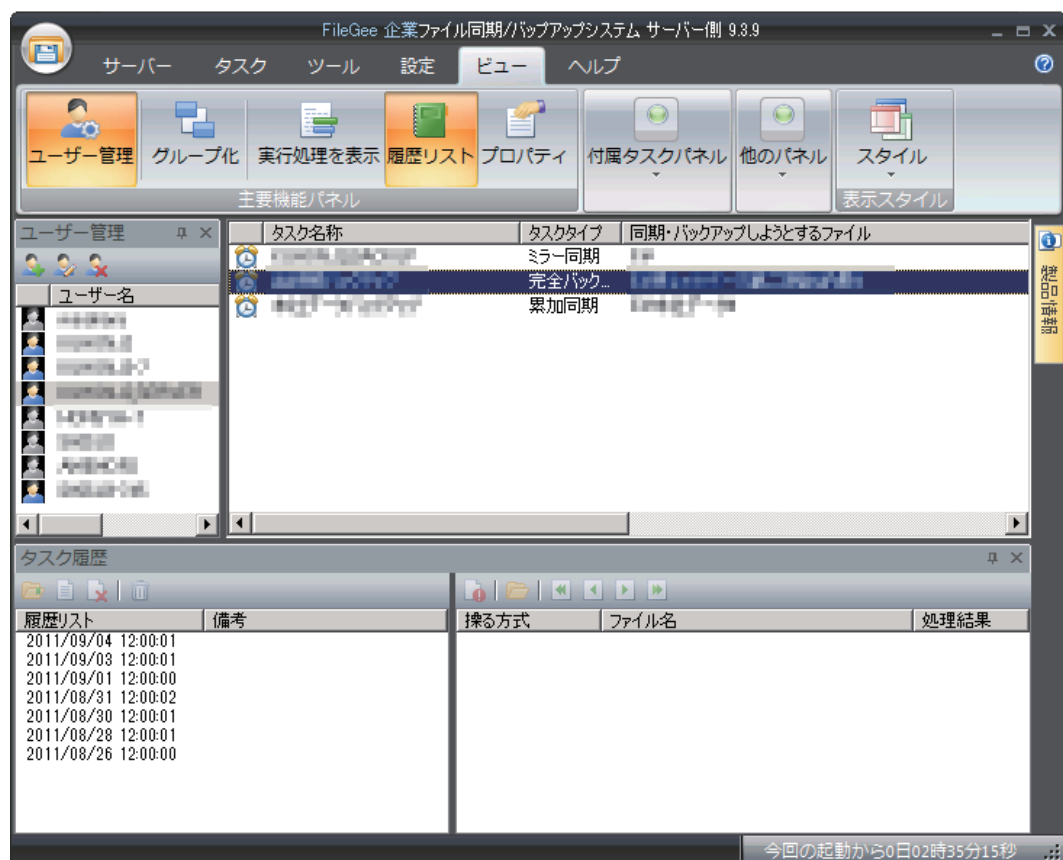
■FTP サーバーの設定



クライアントのデータを外部に設置した FTP サーバーに転送する事ができます。通常各クライアント毎で行う設定ですが、サーバー側（管理者）が予め設定する事ができます。
※設定をしたいユーザーを先に選択する必要があります。

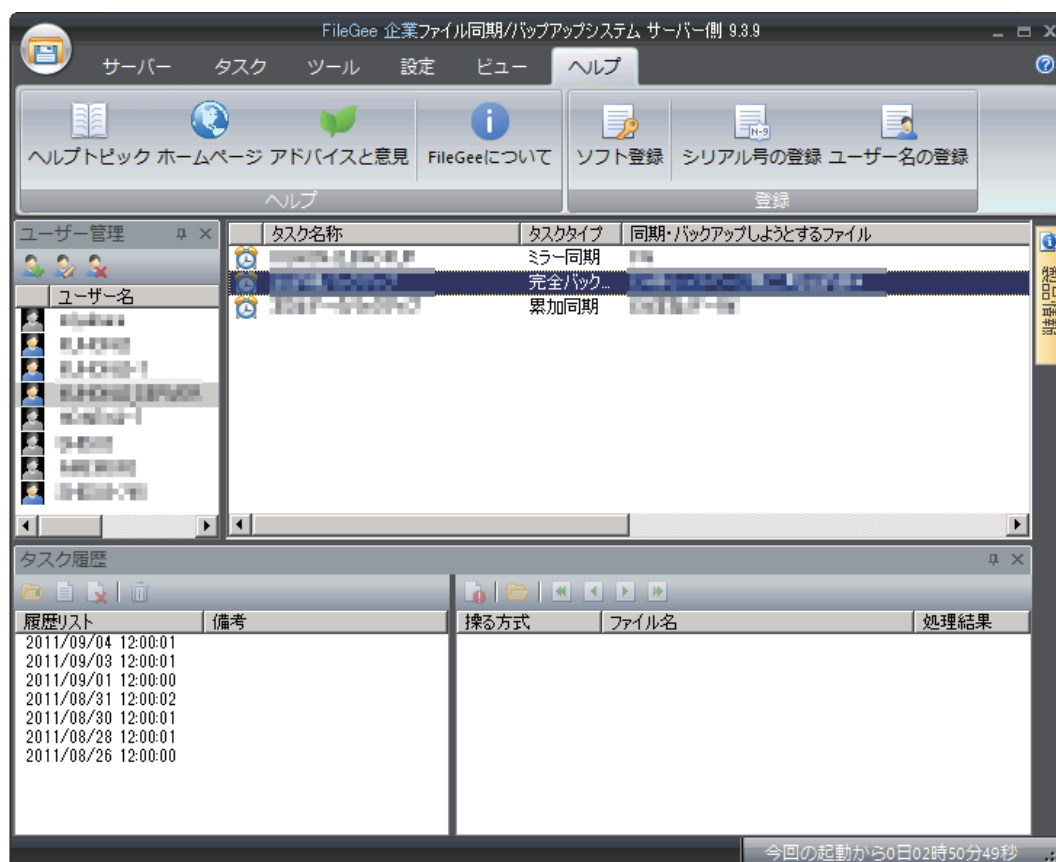
- ① 追加
設定を行う際、このボタンを押します。
- ② 別名設定
FTP サーバーの任意の名前を入力します。
- ③ FTP サーバー
FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
- ④ ポート番号
通常変更する必要はありません。
- ⑤ ユーザー名
FTP サーバーのユーザー名を入力します。
- ⑥ パスワード
FTP サーバーで設定しているパスワードを入力します。
- ⑦ FTP サーバーに接続する際使用する通信方法を選択します。

■ビュー



この項目は、FileGee インターフェイスの表示切り替えをします。上記画面に表示されている「ユーザー管理」や「履歴リスト」などの表示・非表示ができます。また、表示スタイルを変更する事で外観デザインの色を変更する事も可能です。

■ヘルプ



ヘルプタブを開く事で、操作マニュアルや、ユーザー情報の登録、ライセンス登録など行う事ができます。

※詳細なライセンス登録方法は別紙で説明致します。